

## 春の星座

春になって、夜空の方にもぎやかだった冬の星座たちを追いかけるかのように春の星座たちが顔をだしてきました。値千金と呼ばれている春の宵、ときにはボンヤリとした空に、はずかしげに光る星々を見てみませんか。

### 北斗七星

頭の上近くを見て下さい。大きな「ひしゃくの形」が見つかりますね。これは「北斗七星」、北にある七つの星でできたひしゃくという意味です。

視力のよい人には、このひしゃくの持ち手の端から二番目の星が二つに見えます。このため、昔、兵隊の目の検査に使われていたことがありました。北斗七星のある星座は「おおぐま座」です。春の暖かさに誘われたのか、この大きな熊は背中を下にして寝ころんでいるようです。

### 春の大曲線

ひしゃくの持ち手に沿って曲線を描いていくと、オレンジ色の明るい星が見つかります。この星の名前は一等星アークトゥルス。日本では麦刈の頃よく見えるので「麦星」と呼ばれていました。

この星のある星座は「うしかい座」です。牛飼いが自分の牛を守るためにさきほどの大熊の番をしている姿です。

ひしゃくの持ち手からアークトゥルスへと描いた曲線をさらに伸ばすと、青白く輝く星が見つかります。この星は一等星スピカ、その輝きの色から日本では「真珠星」と呼ばれていました。スピカがいる星座は「おとめ座」。乙女も春の暖かさに誘われたのか、横になっています。女性なので大熊みたいに寝ころぶとまではいかないようです。

ひしゃくの持ち手からアークトゥルス、スピカとを結んだ曲線を「春の大曲線」といいます。

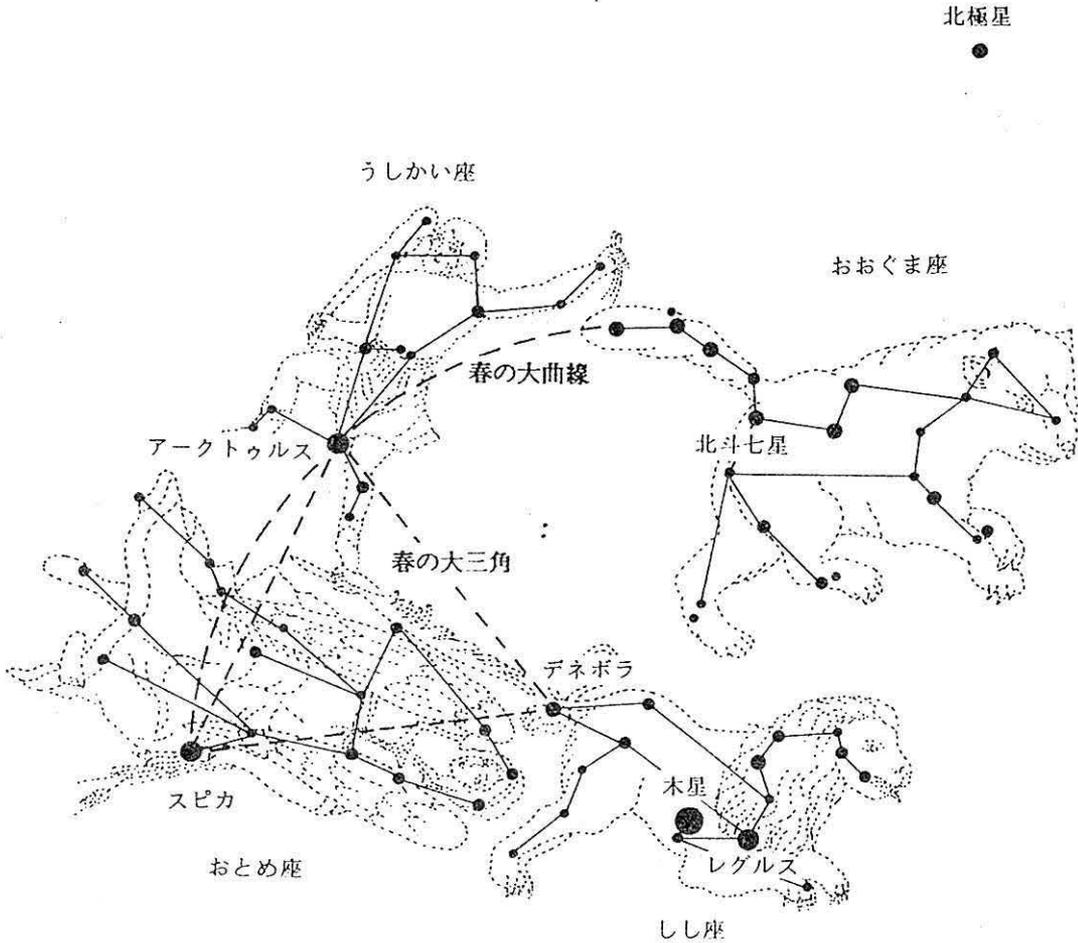
### 春の大三角

アークトゥルス、スピカとを結んだ線を一つの長さとして大きな三角形を作るところに少し明るい星が見つかります。この星の名前はデネボラ。デネボラとはししのしっぽという意味です。そしてこれら三つの星を結んでできる三角形を「春の大三角」といいます。

デネボラの西にはハテナマークを裏返しにしたような形が見つかります。この形が目印の星座は「しし座」、ししとはライオンのことです。し

しの心臓に当たる星は一等星「レグルス」です。

今年の春はこのレグルスの近くに、太陽系でいちばん大きい惑星「木星」がひとときわ明るく輝いています。小さな望遠鏡でもその縞模様は見えます。「春の大曲線」や「春の大三角」などを使って星をたどって行けば春の星座はわりあい見つけやすいと思います。(吉村博儀)



## 富山市科学文化センター

〒939 富山市西中野町1-8-31

TEL (0764) 91-2123

平成4年3月31日発行